

土佐町では“水源のまち”として掲げる「豊かな水を育む水源地として世界に発揮できる土佐町の価値」の実現に向けた取り組みの一環として、水稻栽培において被覆プラスチックを使用しない肥料を用いた施肥試験を行っています。

吉野川ダム統管理事務所では、この土佐町の取り組みに連携する形で河川に流出しているマイクロプラスチックの現状について調査を実施し、SDGsにおけるパートナーシップ連携に基づき合同の調査報告会を実施しました

## SDGs連携調査報告会

日時：令和5年2月20日(月)

場所：土佐町役場 会議室

出席：土佐町(副町長、企画推進課、農畜林振興課  
高知県中央東農業振興センター)

吉野川ダム統管理事務所

(事務所長、副所長、調査課)

### ★調査結果の概要★

土佐町の調査結果より

- ・生育結果に大きな差は見られない
- ・前年度の施肥影響も考えられることから継続調査が必要

吉野川ダム統管理事務所の調査結果より

- ・マイクロプラスチックの密度は地点差が見られた
- ・種類はポリエチレンが最も多かった
- ・主に破片状のものが確認された
- ・調査時期等を変えた継続調査の実施が必要

\*共に次年度も継続調査する方針を確認しました。



SDGs 連携調査 報告会 令和5年2月20日



6 安全な水とトイレ  
を世界中に



14 海の豊かさを  
守ろう



15 陸の豊かさも  
守ろう



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう